

月刊 松代地区振興計画づくりニュース

第4号 平成25年10月1日 松代地区住民自治協議会発行

「災害は忘れたころにやってくる」

台風18号がもたらした豪雨は、松代地区の特産品「ながいも」が栽培されている千曲川堤外の畑を無残な姿に変えてしまいました。

しかし幸いにも、水位が著しく上昇した蛭川をはじめ、松代地区を流れる河川では大事に至らず住民生活に影響がでなかったことは幸いでした。平素は無用の長物のように見える排水機場の有難さを感じました。

振興計画の策定作業も一步一步ですが、次第に色濃いものとなってきました。9月24日には商工会議所松代支部青年部をはじめとする若手経済人の皆さんとの懇談会が開催され活発な議論が交わされました。今月の28日には、将来の松代地区を担う松代中学校・松代高校の生徒との懇談会を予定しています。

10月27日は長野市長選挙が行われます。次期市長が長野市の将来をどう描くのか興味深々ですが、それにも増して松代をどういう地区にしようとしているかは、私たちに住民に問われているように思います。松代地区の将来を描く振興計画に対し、住民の皆様のご意見をお寄せいただきたくよろしくお祈いします。

ご意見等は 直接事務局まで メール (mail@matsushirochiku.com) などで

振興計画策定委員会を開催しました

「基本コンセプトは焦点をしばり具体的な内容にすべきだ」

8月29日に振興計画の策定委員会（計画策定の決定機関）を開催しました。内容は次のとおり

策定委員会の役員を選任しました

委員長 中島嘉一郎（松代地区住民自治協議会会長）

副委員長 芳川順一（松代観光事業振興会長、長野商工会議所松代支部副支部長）

3部会の検討状況を説明しました

振興計画の基本コンセプトについて議論しました

企画調整会議で検討している基本コンセプトの

安心して 心豊かに暮らせる 城下町

暮らしたくなる 行ってみたいくなる 楽しみたいくなる わが故郷 について

内容については正論であるが、幅広い表現なので、もっと活性化に焦点を絞ったものにすべきだとの意見がありました。これを受け、このコンセプトは固定的に扱うのではなく今後計画の策定を進める中で検討していくこととしました。

3部会の今後の取組の考え方を検討しました

地域振興とまちづくり部会

- ・ - 商業で まちの居心地を高める - 農業で 田園部の魅力を高める
- ・ 温泉や宿泊分野のパワーアップ
- ・ 個性ある多彩な食への取組
- ・ 若い感性や外部の知との協働

歴史文化とまちづくり部会

- ・ 武家屋敷、町屋、古い建物、寺社を生かしたまちづくり

裏面へ続く

表面の続き

- ・ 歴史上の先人の墓地文化財指定、案内板設置によりお寺の魅力化
- ・ 歴史的まちなみ整備、活用
- ・ 路地を生かしたまちづくり
- ・ 旧町名の復活
- ・ 里山、泉水・泉水路・庭園、川の歴史、地下壕を生かしたまちづくり
- ・ 旧長野電鉄屋代線跡、旧松代駅舎、歴史上の人物を生かしたまちづくり
- ・ 祭り、温泉、松代焼、食を生かしたまちづくり 他

交通とまちづくり部会

- ・ 市街地間の多核心連携と地域コミュニティーネットワークの充実
- ・ 交通の利便性を高め魅力ある松代に、魅力があれば人は集まる
- ・ 利用する公共交通 利用しなければ公共交通は無くなってしまう

委員会で説明した内容を基本に、各部会では新たな段階で議論を進めることとなります

地域振興とまちづくり部会 の検討状況について

「地域振興とまちづくり部会」では9月13日に第4回の部会を開催し、今までのワークショップ等で出された多くのアイデアを事業に結び付けるため検討を行いました。まずは不十分でも事業体系を整理し、以降拡充を図っていこうとする作戦です。とりあえずの枠組みをまとめました。

